

「復活」5/28(土)

「天国からの奇跡」6/18(土)

「祈りのちから」7/9(土)

ヒューマントラストシネマ渋谷ほか  
 全国順次公開<各作品3週間限定上映>  
 配給：ソニー・ピクチャーズエンタテインメント



### 「天国からの奇跡」

全米公開された『天国からの奇跡』が、『ズートピア』に続き、興行収入第3位の大ヒットスタートとなりました。

.....「天国からの奇跡」試写会にて.....

★難病を患っているお嬢さんと親の、壮絶な戦いと苦悶…。仲間のクリスチャンからの、心無い言葉と目線…。神様につまずきかける母親。でも、そのようなプロセスを経た後に…。

実話に基づいた話なので、奇跡的な癒しだけでも、十分、神の愛と力が伝わってきますが、この作品のメッセージは、それ以上で、私はそこに深い感動を覚えました。壮絶な痛みや苦しみがあること、その理由、癒されることがあり、癒されないことがあること等、日ごろあまり言葉にしにくい問いかけ。それらに答えてくださるような神様の力強い、それでいて細やかな、圧倒的な愛を感じました。母クリスティは最後に、証します。「奇跡というのは、日常の中にたくさんあるのだということに、私は気付いていなかったのです。奇跡は日常の中の、例えば人々が表してくださる、一つ一つの愛の中にあるのだということに、私は知りました…。」見終わった後、文字通り、地上の事柄から目を離し、天を見上げてしまうよ

うな、そんな作品です。

(チアスタッフ 能登麻里)

★クリスチャン・ノンクリスチャン問わず、幅広い世代に観て欲しいと思える作品。田舎町に暮らす幸せな家族が直面した次女アナの難病。重い消化器疾患を患い、治療の方法ももはやないという状況の中で起こった奇跡の証。“毎日が奇跡である…”あらゆる出会い、出来事の中に、神様の素晴らしい配慮、愛という奇跡が散りばめられている。と感じさせられる感動作。教会での賛美やメッセージの場面も素晴らしく、家族のあり方や、周りに置かれる方々とのあり方を、今一度考えさせられた。ちなみに、母親役の女優ジェニファー・ガーナーさん。教会から離れていたそうだが、この作品に出演することを通して、信仰を回復し、離婚寸前だった夫との関係も回復され、子どもたちと共に教会に行くようになったとのこと。同じように、この作品を通して、信仰や家族の回復が成されることを期待し、祈った。

(チアスタッフ 米澤輝美)

.....「復活」試写会にて.....

★キリストの復活以降に、焦点が当てられているところがユニーク。ベースは、聖書に忠実という姿勢でストーリーは展開する。聖書にない部分として、キリストを十字架に架ける側にいたローマ軍司令官のクラヴィアスが、復活したキリストと対面し、復活が誤りなき真実だということに気付くストーリーが描かれる。その葛藤の様子はリアルで、当時キリストの十字架の後に救われた人々の中に、クラヴィアスのような方も確かにいたであろうと思われた。特にキリストの十字架上での死と、その復活に関して明確に描いているところが、福音をまっすぐ語っている作品として素晴らしいと思った。(チアスタッフ 米澤輝美)

